

足立区青少年委員会だより



区の花：チューリップ

あだち

第 65 号

平成 30 年 9 月 25 日

編集発行
足立区青少年委員会
広報部

足立区教育委員会
青少年課

<http://adachi-seishounen.jp>



青少年委員委嘱式

青少年委員の活動



足立区青少年委員会 会長

下川 佐智子

雨降りの中で珍しくカタツムリを見つけ、長靴を履いて水たまりに入り遊んで帰ったことや、初めてアマガエルを見て光り輝く緑色に驚いたこと。日差しのまぶしさに立ち竦み、夏まつりで迷子になり泣きながら母を探していたことなど、幼い頃の記憶が蘇ってきました。毎日が新しい発見と体験でいっぱいの日々で季節を直に感じていました。

青少年委員会では子供たちが日々の生活から季節を体感し、人との関わりの中で感動や喜びの体験を積み重ねる心豊かに成長し、伝統や文化を伝えていきたいの思いから「年中行事・記念日を大切に取る取り組み」を推進しています。雛祭り、こどもの日、七夕、十五夜では区役所アトリウムで飾り付け活動をしています。足立区では、子供の成長には様々な体験をすることが欠かせないということから、体験活動の充実も進めています。青少年委員会で協力し応援していきます。

学校や地域の会議や行事、青少年対策地区委員会や開かれた学校づくり協議会などに積極的に参加し情報の共有にも努め、ホームページなどで発信していきます。また、毎年各ブロックで開催している教育懇談会も地域の学びと交流の場となっています。

今後も子供たちの健やかな成長を願い、青少年委員会は元気に活動してまいります。

研修部の活動

研修部長 竹田 春彦

平素は研修部の諸行事にご協力いただき誠にありがとうございます。今年度は6月に区庁舎大会議室において新任研修会を開催しました。当日は、定野教育長を講師に迎え『子供たちの成長と足立の教育』をテーマに、足立区の現況と今後の施策について講演いただきました。

これからも青少年委員としての行動力の向上を図り、活動していきたいと思っております。

また、9月の日帰り研修会、2月には全体研修会を計画しております。学校・地域の方々との連携に青少年委員が確実に協働できるよう研修会を糧に、足立区の次代を担う子供たちがいきいきと、たくましく成長できるよう、研修部全員で力を合わせて取り組んでいきます。

事業部の活動

事業部長 原田 勉

事業部では、青少年健全育成団体親睦ソフトボール大会の開催、年中行事に係る展示、あだち区民まつり（A-Festa）にてイベントの運営等を主な事業として活動しております。特に、毎年10月に開催されるA-Festaでは、本物のSL（蒸気機関車）と同じ構造で実際に石炭をたいて走る「ミニSL」が、子供から大人まで根強い人気を誇っており、客車に子供たちを乗せて力強く会場内を走ります。

また、年中行事に係る活動では、足立区役所アトリウムへ年4回（端午の節句、七夕、お月見飾り、雛人形）の展示を行っております。

今年度は、事業部内で密に情報共有を図り、実りある活動を推進して参ります。

第24回 青少年健全育成団体親睦ソフトボール大会



少連協より優勝カップ返還



じゃんけん大会・決勝戦

6月10日曇天の下、青少年健全育成団体親睦ソフトボール大会が行われました。始球式の後、試合開始。途中、心配していた雨が降り始め、第3試合終了後あえなく中止。

今年度の優勝は、じゃんけんによりスポーツ推進委員会となりました。

編集後記

広報部長 大西 りん子

新任研修会の講演の中で定野教育長が「今を変えようと未来が変わる」ー子供たちが今、正しい生活習慣を身につけることやいろいろな体験を通して、達成感、自己肯定感などを持つことは、これから先の未来につながっていくというお話をされました。

これからの社会の変化に主体的に向き合える力、やりぬく力などをつけるため、子供たちの「今」はとても大事だと思います。

広報部では、青少年委員の地域と学校をつなぐ活動や子供たちの未来につながる「今」の取り組みなど、様々な情報を発信していきたいと思っております。ホームページも開設していますのでぜひご覧ください。

今年度もどうぞよろしくお願いたします。

子供たちの健全育成のために

足立区教育委員会青少年課長

渡邊 勇



青少年委員の皆様には、日ごろより青少年の健全育成事業にご尽力いただきありがとうございます。

私は、青少年課は初めてですが、実は九年前の教育改革推進課長の時に、現在の青少年課の事業である「あだち子ども百人一首大会」の新規立ち上げに携わった経験があります。この大会も今年で十回目を数えることとなり、長い年月を感じつつ当時のことを思い出します。当時は初めての取り組みで、全日本かるた協会や区小研・区中研の国語部会の先生方とともに、青少年委員の皆さんにご協力をいただきました。どのように大会を行うのか、ルール作成から検討しなければならず、正に手探り状態でしたが、青少年委員の方に審判としてご協力をお願いしたところ、快諾していただいたことを忘れることはできません。

今後、青少年委員の皆さんと力を合わせ、子供たちの健全育成に励んでいきたいと思っております。

新任研修会に参加して

「ツナグ」

広報部 大原 恵子

「大切なものは目に見えない」新任研修会で定野教育長は、そうしめくられました。青少年委員となつての二ヶ月半は手探りの日々でした。四月に担当校である千寿青葉中の入学式での紹介に始まり、地区対やその他の集まりで青少年委員と紹介されるそのたびに身の引き締まる思いがしました。講演後の各グループでの討論では先輩委員の体験をお話していただきました。討論後に新任の方の発表を聞きながら、地域から選出される青少年委員の役割がおぼろげながら掴めたような気がします。



定野教育長の講演

貧困や学力の問題など目に見えない大きな課題に自分自身何ができるかわかりませんが学校と地域子供と大人今と未来この三つを「ツナグ」ことを念頭においてこれからの活動をしていきたいと思っております。

「未来に向かって」

広報部 若色 昭夫

私が青少年委員となったきっかけは副会長の宮崎さんの電話でした。「単刀直入に言います。青少年委員やりませんか？」以前から千寿小学校の開かれた学校づくり協議会の委員もやっており、青少年委員がどのような活動を行うかは聞いていました。新任研修会で定野教育長の講演を拝聴し、足立区における教育の現状、今後のビジョンを大変分かりやすくご説明いただきました。

私が現在携わっている宇宙を題材とした地域教育の考え方（未来に向かって）と共感出来る部分が多く、講演の内容を再度理解した上で青少年委員としてどのように活動していくかを改めて考えさせ

られる機会となりました。講演後は諸先輩方とのグループディスカッションが行われ、短い時間ではありましたが十人十色のご意見やアドバイスをいただき、あまり背伸びせずに自分が出来る事を積極的に行い、学校・保護者・地域の橋渡し役になる事が重要だと実感しました。



グループディスカッションと発表の様子

退任にあたり思うこと

青少年委員会前会長

北島 一弘

青少年委員の皆様、本当にお世話になりました。九期十八年の務めを無事終了できましたのも皆様のお陰と感謝しています。

私が青少年委員になって広報部に入り、「成人式」でアンケートをとった時の感覚は今でも鮮明に覚えています。アンケート用紙を抱えて、武道館の外の若者の群れの中に入っていくのは最初は勇気が要りますが、すぐにその面白さに慣れます。その当時の若者は強者（ツワモノ）が多く、雰囲気も独特で、警察官やガードマンも居ませんから青少年委員が最前線で身体を張っていました。

アンケート用紙を媒介とした軽い会話やボケ突っ込みは、その日の雰囲気や集まった人の意識



定野教育長から感謝状授与

永年にわたり、青少年健全育成活動にご活躍いただきありがとうございました。

- 第一ブロック
- 第二ブロック
- 第三ブロック
- 第四ブロック
- 第六ブロック
- 第七ブロック
- 第九ブロック
- 第十ブロック
- 第十一ブロック
- 第十二ブロック
- 第十三ブロック

- 高橋 雅司
- 石橋 一弘
- 北島 真代
- 吉橋 真佐美
- 高橋 悦彦
- 小張 文彦
- 小藤 孝弘
- 佐藤 佳次
- 岡本 政弘
- 岡本 孝彦
- 三枝 文彦
- 菱沼 文彦
- 下島 文彦
- 小林 文彦
- 佐藤 文彦
- 仲川 文彦
- 芦川 文彦
- 吉澤 文彦
- 栗原 文彦
- 北原 文彦
- 渡辺 文彦
- 福藤 文彦
- 笠原 文彦
- 杉本 文彦

青少年委員会退任者紹介

平成三十年三月三十一日付

を探る上で最良の方法だと思っております。特に女性委員は、面倒見の良い雰囲気や成人式参加者にも伝わり、とても良い関係を作っています。

これからも、このアンケート調査は内容の充実もさることながら、実施することの意義を考えて継続していただきたいものです。

このような活動一つ一つを大切にしながら、これからも皆さんが、青少年委員として活躍されることを期待します。

ブロック教育懇談会

「子どもたちの光るこえ」

第一ブロック 稲垣 まゆみ

七月七日、千寿常東小学校体育館にて、各地を講演して大好評の元小学校教師の香葉村真由美先生をお迎えして講演会を開催しました。当日は二百人を超える参加者があり、中には感動の涙をこらえて熱心に聴講されている方も見受けられる熱い講演会となりました。「子供にも個人差があります」「待つという気持ちを持ちましょう」「何があっても許してください」そして「認めてあげてください」最後に「とにかくほんの小さな変化でも褒めてください」

そうすることで子供は自己肯定感を感じることができるようになり、すくすく成長していけることを知って欲しいとの先生の力強い言葉は、出席者の多くの方の心に届いたと思います。



「子どもたちを取り巻く環境の変化と現状・取り組み」

第十三ブロック 緑川 勝彦

七月五日、舎人小学校にて開催されました。はじめに「不登校児童・生徒への支援の充実」と題して、教育相談課長・楠山慶之様の講演がありました。様々な原因により、足立区の不登校児童・生徒の数が年々増加している現状、新たな不登校を抑制するための支援体制などの説明があり、臨床心理士、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの連携により、減少に努めているとお話がありました。

後半は、ブロック内の小中学校の参加者からそれぞれの不登校問題、SNS問題の事例や取り組みについて報告がありました。学校に対する、保護者の考え方の違いやSNSに対する子供たちの興味・関心の強さ、写真・映像を安易に拡散してしまう危険性など、各校が抱える問題が浮き彫りになりました。

懇談会後、懇親会にて賑やかに親交を深めました。

